



看護学科設置へ、文科省に認可申請したことを発表した光星学院の法官新一理事長(左から2人目)

「看護学科」設置申請

八学大来年の開設目指す

学校法人光星学院(法官新一理事長)は31日、運営する八戸学院人間健康学部への「看護学科」設置に向けた認可申請書を文部科学省に提出したと発表した。8月中にも認可される見込みで、2016年4月の開設を目指す。

市2校、弘前市3校で、県南地域では初となる。八学大への設置が認可されれば、系列の八戸学院短大看護学科は同年からの募集を停止する見通し。

新たに設置される看護学科は4年制で定員80人。卒業時に国家試験の受験資格を得られるのに加え、20人程度が保健師になるための国家試験を受験できる。高度な知識と技術を備えた人材の育成を目指す方針だ。

(玉川那津美)

認可後は人間健康学部を健康医療学部に変更する予定。

同学院看護四大化準備室の蛭田由美室長は「従来の3年課程ではきつい授業計画だったが、1年間の余裕を持たせることで、確実な実践技術を身に付けることができる」と述べた。

また、八学短大は、校舎の老朽化や耐震対策を理由に、幼児保育学科の新校舎を西キャンパスの弓道場跡地に建設する。延べ床面積約710平方メートルで2階建て。5月中旬にも着工し、12月中に完成する計画だ。